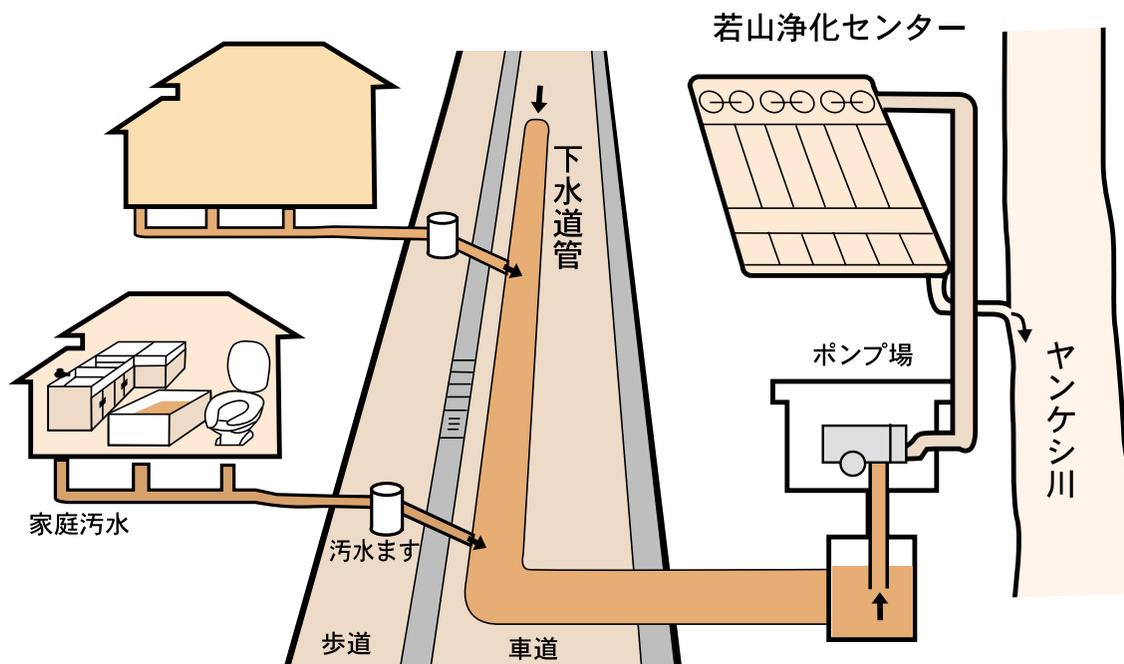


## 下水道の仕組み



### 下水道の仕組みを見てみよう！

登別市の終末処理場は、若山浄化センターの一つだけ。私たちの家庭から排出された汚水はどのように若山浄化センターまで流れていくのか、また、たくさんの汚水を、どのように浄化しているのか。みなさんは、不思議に思ったことはありませんか。ここで、下水道の仕組みを見てみましょう（上記の図参照）。

下水道は、下水道管、ポンプ場、終末処理場の施設をいいます。

下水道管は、まちの地下に網の目状に埋設されており、家庭や工場からの汚水を処理場まで運びます。下水道管は、自然の力で汚水を流すためにこう配をつけますが、距離が長くなると下水道管は、地下深く埋設されることとなります。

地下深く埋設すると費用が高くなるため、途中で汚水を地上近くまでくみ上げる必要があります。この施設をポンプ場といいま



平成13年度に完成した若草ポンプ場

す。下水道管により汚水は終末処理場に運ばれますが、終末処理場では、バクテリアなどの微生物が汚水の汚れを食べることを利用して、汚

水をきれいに処理しています（4ページの図参照）。処理されたきれいな水は、川や海に流されて自然の水循環に戻っていきます。



若山浄化センター

### 私たちのまちの下水道事業を見てみよう

#### これまでの事業経過

登別市の下水道整備は、昭和56年度から始まりました。道内の34市中では31番目の遅いスタートとなりましたが、事業着手以降積極的に事業を進めています（4ページの「表1」参照）。

下水道管の整備は、現在、幌別地区から順次鷺別地区に向けて進めて